

[銘柄コード:4734]

BEING

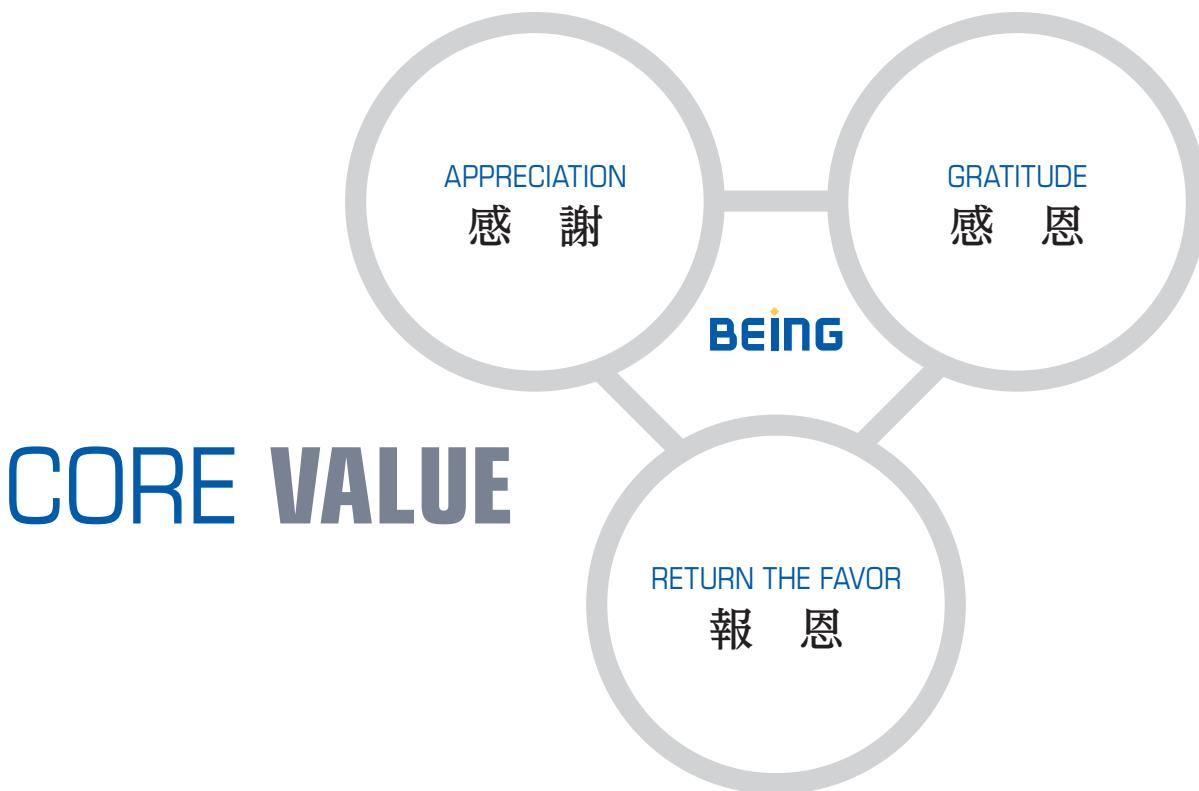
第36期中間期 | ビーイング通信

2019年4月1日  2019年9月30日



コアバリューについて

ビーイングのたゆまぬ歩みの礎となり、絶えず適切な方向へと導く源泉となってきたものが、創業以来のコアバリューである「感謝・感恩・報恩（感謝の気持ちを忘れず、恩を感じ、恩に報いる、の意）」です。ビーイングの企業理念・倫理規定として社員一人ひとりに確実に受け継がれており、事業運営の中核となっています。



開発力強化への取り組み

2013年、ミャンマーに開発会社を設立。プログラミング技術研修とあわせて日本語教育を実施することで、現在は当社の開発案件を受託できるオフショア拠点に成長しました。2017年、長崎県五島市に積算データ専門の入力センターを設立。さらに2019年5月には、Webアプリケーションの開発環境Ruby On Railsに特化した受託開発会社を子会社化するなど、グループの総合開発力強化に取り組んでおります。

◆建設関連事業

建設業界の業務フロー全体を支援する 「建設ICTソリューション」

積算ソフトのシェアNo.1（※）を誇るGaiaシリーズを筆頭に、建設業様向けソフトを販売しています。計画、入札、収支管理、書類作成、工程管理などの業務フローを総合的に支援する多種多様な商品群は、高い評価を得ています。

創業以来培ったノウハウを基に、ソフト間のデータ連携、ダウンロードサービスの充実、正確なデータの迅速な提供、お客様にご満足いただけるサポートサービスなど、時代の変化やニーズにあわせ、たゆまぬ改善活動を続けています。

※「積算ソフト利用実態調査」「建設ITガイド2007」（一般財団法人経済調査会）

Gaia10

BeingProject-CCPM
Critical Chain Project Management

BeingBid
Bid management system

BeingBudget

評点PLUS+

BeingCollaboration®

BeingCollaboration PM

サガシバ

◆TOC関連事業

想定外を想定内にする プロジェクトマネジメントサービス

TOC-CCPM理論に対応した国産初のソフトウェアで、技術・サービス・システム開発など様々なプロジェクトの生産性向上や工程管理、経営改善に効果を発揮します。製造・サービス・ITなど多様な業界に採用され、プロジェクト管理ツール市場において国内シェアNo.2（※）を獲得しています。欧米・アジアなど海外のお客様にもご利用いただいております。

子会社であるピーイングコンサルティングのTOC専門部隊によるコンサルティングサービスを、管理用ソフトウェアとあわせてご提供するスタイルでご好評をいただいております。

※「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」（株式会社富士キメラ総研）

BeingManagement 3
Critical Chain Project Management

TOCとは

1970年代後半にイスラエルの物理学者、故エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱、1984年に同博士が執筆した小説仕立ての解説書「The Goal」によって世界的に普及しました。DBR、思考プロセス、CCPMなど目的に応じたソリューションを持ち、世界中の企業から多くの成功事例が報告されています。

◆設備関連事業

「どこでも、誰でも」を実現する水道・電気設備申請支援CAD

電気・水道設備の工事業者様向けのソフトウェアで、主に子会社であるプラスパイププラスが販売。工事図面、見積書・申請書類の作成に効果的です。2018年には、JW-CADユーザー向け立面図・縦断面図作成システム「plusCAD水道」と利益が見える現場管理システム「要」も発売開始。今後も互いの強みを活かし、より幅広いサービスを提供してまいります。

plusCAD 水道

plusCAD 電気 α

plus CAD 水道 J 

当社は、本年6月27日付で津田誠を代表取締役社長とする新経営体制を発足いたしました。

社長の津田より社長就任から半年間の取り組み、中間期の状況等についてご説明させていただきます。

Q. 半年間の振り返りをお願いします

持続的な成長・発展を目指す上で、さらに強い組織にすることが、まず必要だと考え、今期より、「経営改善プロジェクト」を始動しています。プロジェクトにおいては社外有識者も交えた検討会を経て、取締役を対象としたコンプライアンス定期研修の実施、すべての社有車に衝突防止安全装置や危険運転通報機能付きのドライブレコーダーを導入、車両運行管理の見直し、匿名相談を受け付ける社外コンプライアンス窓口の設置等、様々な施策を決定し、順次運用を開始しています。経営をより健全で盤石なものとし、皆様方に信頼され、業界を永くリードする企業に成長できるよう、引き続き取り組んでまいります。

また、働く環境の整備にも取り組みました。私は、社員一人ひとりが会社の目指す方向を理解し、その達成に向け、能力を最大限に発揮できる環境を整えることが何より重要だと考えています。そのため、社長就任後、ただちにすべての拠点を訪問し、私の目指すビジョンの共有とあわせて、社員と直接対話する機会を持ちました。こういった経営陣と社員の気軽な意見交

換は今後も続け、現場の声を経営に反映させていきたいと考えています。また、ITインフラやオフィス環境の整備、ルールや制度の見直しを進めることで、各拠点に分かれて働く社員が連携しながら活躍し、会社と一緒に成長できるような環境を提供していきたいと考えています。

Q. 開発力強化に向けた取り組みをお聞かせください

ソフトウェアメーカーとして、よりよい商品をさらにスピーディに世の中に提供するためには、高い技術力と生産性の向上が欠かせません。エンジニア育成のため、学習や研究機会を増やすのはもちろん、培ったノウハウや技術が世代を越えて継承される環境作りを進めてまいります。

5月には開発環境「Ruby on Rails」に特化し、Webアプリケーションの開発に強みを持つ株式会社ラグザイアを子会社化しました。現在、当社開発陣と株式会社ラグザイアの強みを連携させる協業を進めています。7月には柔軟で機動的な体制を構築すべく組織体制を見直し、それまで機能毎に分かれていた開発部門を一本化しました。さらに、10月には当社の主力商品である積算システム『Gaia（ガイア）』の機能企画を担う専門部署を立ち上げ、新技術の研究にあたるとともに、積算制度や市場ニーズの動向を的確にとらえ、迅速に商品に反映させる体制を整えました。

CONTENTS

3 社長インタビュー

5 トピックス

7 連結財務ハイライト

9 会社概要

10 株式の状況

オフショア開発拠点であるビーイングミャンマー（ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市）、データ入力センターである株式会社ビーイングDC（長崎県五島市）等も含めて、グループ全体を高い視野で俯瞰しながら開発力強化を進めています。

Q. 当中間期の状況をお聞かせください

売上面では、主力商品『Gaia10』の販売が引き続き順調です。その他、情報共有システム『BeingCollaboration PM』や、見積・実行予算システム『BeingBudget』も全国各地で導入が進みました。株式会社ラグザイアを子会社化したことによる増収効果もあり、売上高は33億14百万円（前年同期比12.8%増）となりました。コスト面では、商品開発力の強化を進める一環として、今期も研究開発には積極的に資金を投下しております。また、株式会社ラグザイアの子会社化に伴うコストも発生いたしました。

これらの結果、経常利益は5億10百万円（同22.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は3億33百万円（同22.1%増）となりました。

Q. 株主の皆様へ一言お願いします

引き続き、主力商品『Gaia10』を軸にしつつ、新事業の発足、開発力・営業力の強化に取り組んでまいります。建設関連事業では、これから数年かけて建設現場の業務フロー全体を支援し業務効率化を実現するITソリューション群を商品化する予定です。子会社においては、株式会社プラスパイプによる『要～KANAME～』の更なる浸透、営業力強化に一層注力してまいります。また、株式会社ビーイングコンサルティングの実績拡大など、5年先、10年先を見据え多

角的な事業展開をおこなってまいります。

今秋、当社は上場20周年、創業35周年を迎えました。これもひとえに、皆様の長年にわたるご愛顧の賜物と心より感謝いたしております。事業を取り巻く環境は刻一刻と変化しておりますが、現状に慢心することなく中長期的な企業価値向上や競争力強化に向け、グループ一丸となって邁進していく所存でございますので、一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

津田 絨

TOPICS 01

上場20周年

当社は、おかげさまで、本年10月に上場から20周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご厚情の賜物と深く感謝しております。

1984年の創業時は社員2名で、年商はわずか1,400万円のスタートでした。1999年上場以降も、幾多の出来事ございましたが、より多くのお客様に、より幅広く貢献すべく、前進を続けてまいりました。現在は、建設業のみならず製造業、設備業に向けた多様なサービス提供に取り組んでおります。これからも、500年企業を目指すべく、従業員一同、鋭意努めてまいります。



TOPICS 02

「三重バイオレットアイリス」協賛

当社は、三重県鈴鹿市を拠点に活動する女子ハンドボールクラブ「三重バイオレットアイリス」のオフィシャルスポンサーになりました。同チームによる地域スポーツ推進や活気あるまちづくりに賛同し、貢献してまいります。



TOPICS 03

関西営業所、統合

このたび、事業拡大のため営業所体制を見直し、大阪の2つの営業所統合および拠点名称変更を実施しました。これからも、お取引先様とより一層の関係強化、サービス向上に努めてまいり所存でございます。

TOPICS 04

Developers.IO 2019 TOKYOに、ゲストスピーカーとして登壇

監視、バックアップ、障害対応等、社内システムの運用における課題解決のため、当社は情報システム設備をAWS (Amazon Web Service) によりクラウド化しています。Developers.IO 2019 TOKYOでは、システム運用をアウトソースすることで負荷軽減を実現した成功事例をご紹介します。

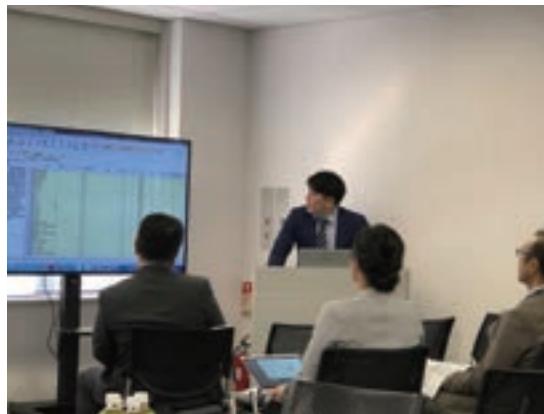


紺綬褒章受章

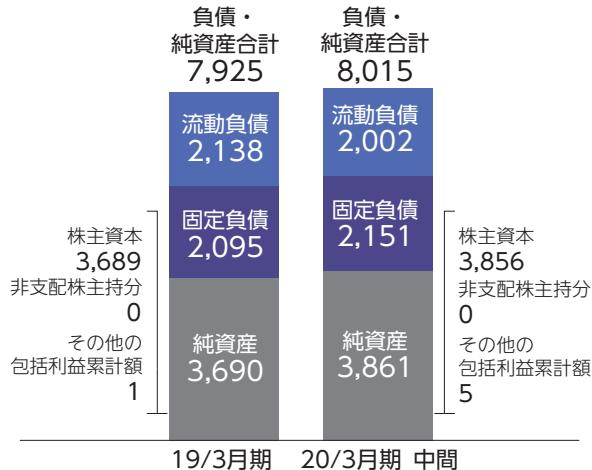
当社は昨年、「平成30年7月豪雨」で甚大な被害を受けた広島県・岡山県・愛媛県に寄付を行いました。このたび、その貢献が認められ、紺綬褒章を受章いたしました（広島県と岡山県より褒状を受領）。当社としては、今後も、様々な形で社会に貢献してまいります。

商品展示会「SUMMER FAIR」開催

今夏、東京で七日間にわたる商品展示会を開催し、多くのお客様にご来場いただきました。実際に商品进行操作いただけるスペースに加え、無料で実施した積算システム講習会では、『Gaia10』の機能や連携システムのご紹介や基本的な積算を行い、大変ご好評いただきました。



◆ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



Point | 総資産

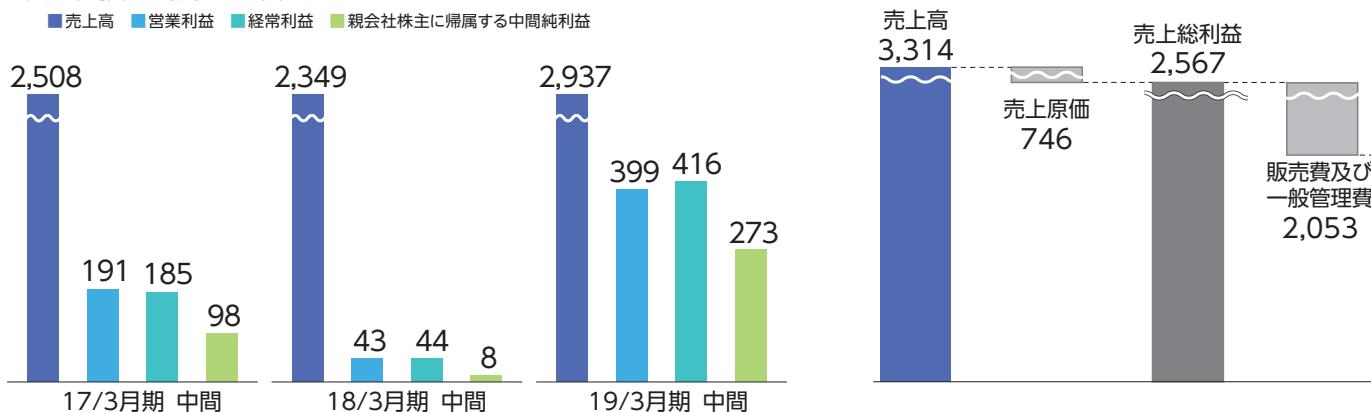
有形固定資産が33百万円、のれんが166百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が115百万円、現金及び預金が39百万円それぞれ減少したことなどから、前期末に比べて90百万円増加し、8,015百万円となりました。

Point | 純資産

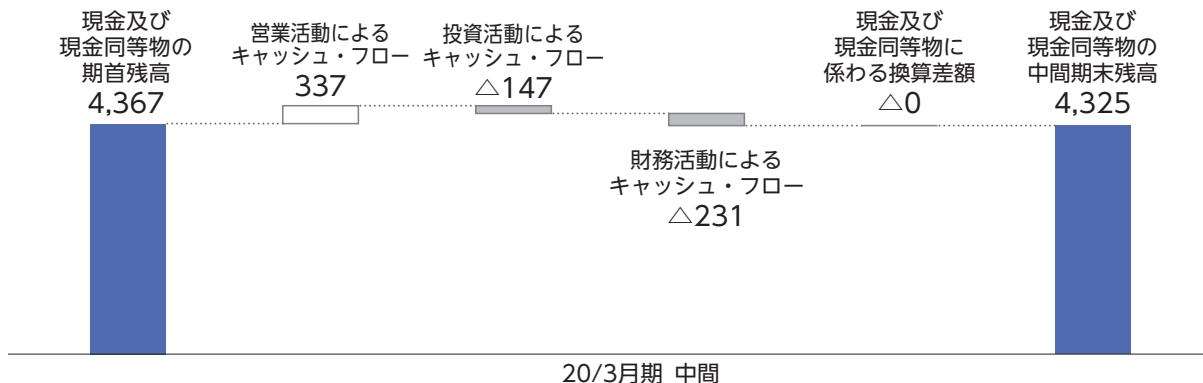
親会社株主に帰属する中間純利益の計上により333百万円、自己株式の処分により13百万円それぞれ増加し、配当により180百万円減少したことなどから、前期末に比べて170百万円増加し、3,861百万円となりました。

◆ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する中間純利益



◆ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

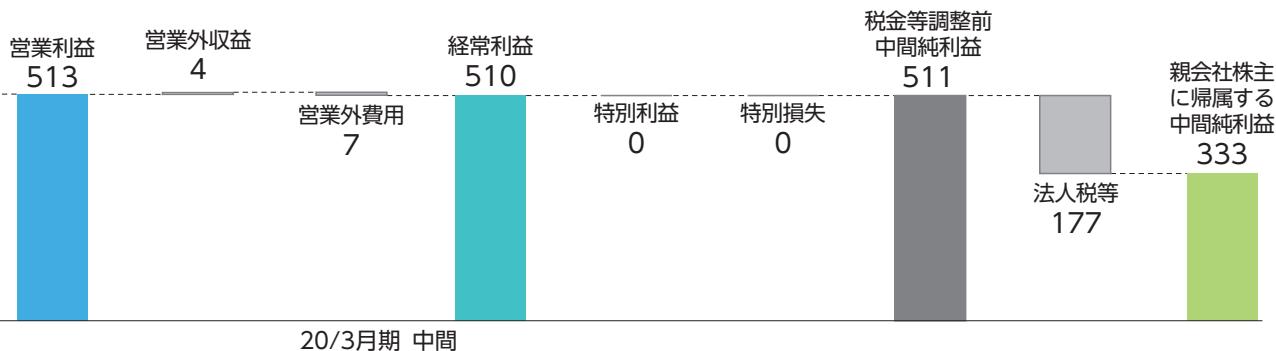


Point | 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益511百万円の計上、売上債権の減少額142百万円などの収入、未払金の減少を含むその他の支出107百万円、法人税等の支払額241百万円などによる支出があったことにより、337百万円増加（前年同期は824百万円の増加）しております。

Point | 損益分析

売上高は、コアビジネスである建設関連事業の販売が堅調に推移していることに加えて、株式会社ラグザイアを新規連結したことによる増収効果もあり、前年同期に比して12.8%増加し3,314百万円となりました。研究開発の推進、株式会社ラグザイアの子会社化のためのコスト等がございましたが、経常利益は前年同期に比して22.6%増加し510百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に比して22.1%増加し333百万円となりました。



◆会社概要

商号	株式会社ビーイング (Being Co.,Ltd.)
所在地	本社 三重県津市桜橋1丁目312番地 TEL 059-227-2932 (代表)
設立	1984年9月18日
資本金	1,586,500,800円
従業員数	265名
主要事業	建設業向けアプリケーション …土木工事積算システム、情報共有システム、 見積・実行予算システム TOC関連アプリケーション …工程管理システム、サプライチェーン・マネジメント・システム
子会社	(株)プラスバイプラス …設備業向けCADソフトウェアの販売 Being (Myanmar) Co.,Ltd. …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングDC …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングコンサルティング …生産性向上コンサルティングサービスの提供 (株)ラグザイア …コンピュータソフトウェアの受託開発



本社



沖縄事務所

◆営業所 (事務所)



◆役員

役職	氏名	担当	他の法人等の代表状況等
代表取締役会長	津田 能成		(有)トゥルース 代表取締役 (株)プラスバイプラス 取締役会長 Being (Myanmar) Co.,Ltd. 代表取締役 (株)ビーイングDC 代表取締役会長 (株)ビーイングコンサルティング 代表取締役社長 (株)ラグザイア 代表取締役会長
代表取締役社長	津田 誠		(有)トゥルース 取締役 (株)ラグザイア 取締役 (株)プラスバイプラス 取締役
常務取締役	後藤 伸悟	経理部長	(株)プラスバイプラス 監査役 (株)ビーイングDC 監査役 (株)ビーイングコンサルティング 監査役 (株)ラグザイア 監査役
常務取締役	井関 照彦	Gaia企画部長	(株)プラスバイプラス 取締役
取締役	賀川 美穂	総務部長	
取締役	花田 大作	建設営業部長 兼 特販部長	
取締役	宇治川 浩一	開発部長	(株)ラグザイア 取締役
社外取締役 (監査等委員)	大矢 勝		
社外取締役 (監査等委員)	楠井 嘉行		楠井法律事務所 所長 三重交通グループホールディングス(株) 社外取締役
取締役 (監査等委員)	津田 由美子		(有)トゥルース 取締役
社外取締役 (監査等委員)	中 博		(株)クビド 代表取締役

◆株式数および株主数

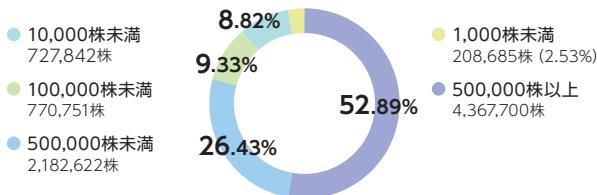
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,257,600株
株主数	1,323名

◆大株主

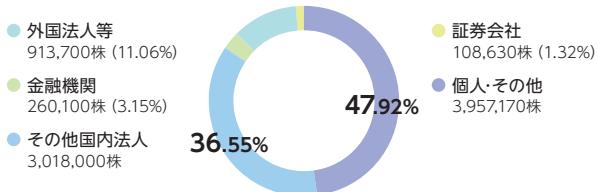
株主名	持株数	持株比率
有限会社トゥールース	2,850,000株	34.51%
津田 能成	1,517,700株	18.37%
株式会社ビーイング	415,227株	5.02%
津田 由美子	381,000株	4.61%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	300,000株	3.63%

◆所有者区分別株式分布状況

所有者別



所有者別



WEBサイトのご案内

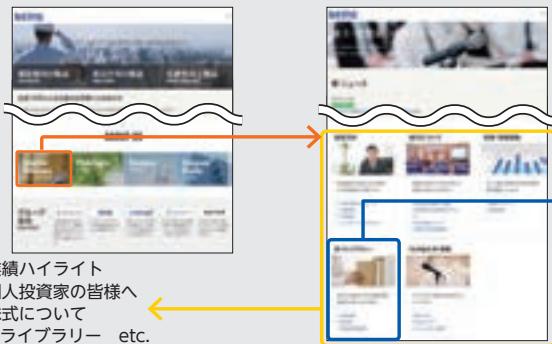
当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

<https://www.beingcorp.co.jp/>

株式会社ビーイング IR

トップページ

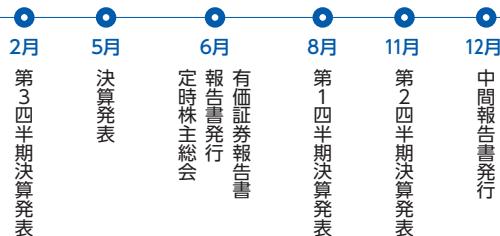
「IR情報」トップ



- 業績ハイライト
- 個人投資家の皆様へ
- 株式について
- IRライブラリー etc.

今後のIRスケジュール (予定)

当社では迅速かつ正確な情報開示を心がけるほか、投資家の皆様に向けたさまざまな活動も行っています。以下は当社の今後のIRスケジュールになります。ご参考の上、引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。
なお、予定は予告なく変更される場合がございます。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日 (その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日)
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話番号:0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の掲載	電子公告 ※ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載ホームページアドレス https://www.beingcorp.co.jp/
銘柄コード	4734

*株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

*特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。